

タウンミーティング 聴きたい、話したい まちのこと

日 時 平成29年3月19日（日）午後2時～3時30分

場 所 西地区集会所（西地区町内会）

参加者 41人



主な意見等

参加者 市道640号線（西口駅前通線）と、この道路を横切る一方通行道路との交差点には横断歩道も信号もないので、車の流れに注意しながら道路を横断しなければならず、危険です。横断歩道だけでも設置してもらえないでしょうか。

市長 信号や横断歩道の設置については、これまでも要望を数多くいただいています。横断歩道には一定の距離が決められていて、市としてどこまでできるか分からない面もありますが、県に要望があったことは伝えていきたいと思います。

参加者 運動指導室の運営日についてですが、隔週で連休となるのをなくしてもらえないでしょうか。利用者からすれば三芳町の体育館と同じくらいにしてもらいたいという気持ちはありますが、せめて連休だけではなくしてもらいたいです。

市長 要望ということで承らせていただきます。ただし、利用されない方の税金を使って運営しているということもございますので、どこまで応えられるかという限度はあると思います。

参加者　　ふじみ野市から三芳町の体育館まで行って利用している人もいます。徒歩で行っている人もいますが、施設がいいから行っているのだと思います。

市 長　　現在スポーツ施設の整備には力を入れています。それが健康づくりにつながって、医療費の抑制にもなると考えています。次は、公民館やホールなどの文化施設です。ただし何十億円もかけて整備するというわけにはいきませんので、優先順位をつけて行っていく必要があります。運動指導室については、今のやり方でなく、民間の施設の利用補助をするという方法もあるかと思っています。

参加者　　市報の12月号が1日には届かず、3日に届きました。今月もそうだったのですが、講習等の募集は1日から始まるものもあり、申込み順だと間に合わないこともあります。このときは、情報を事前に知っていたので、出張所に市報をもらいに行き、申し込むことができたのですが、知らなかったら無理だったと思います。1日からの募集に間に合うように届けていただきたいです。

市 長　　市報は、毎月27、28日頃に発行されます。配布はシルバー人材センターに委託しており、そこから4日間で届けてもらっています。募集記事については、1日号ということで、1日からではなく、余裕をもって始めてもらいたいということはお願いはしていますが、団体の方からの掲載希望も非常に多く、なかなか統一が取れていない状況にあります。今後は統一するようにしたいと思います。

参加者　　エコパについてですが、利用者の方にはマナーを守っていただきたいと思います。特に女性のマナーが悪いのが目立ちます。日焼け止め、口紅、マニキュアはつけたまま、水着の上にパーカー、バイザーを着用し、シャワーも浴びずにプールに入ったりしています。施設のスタッフの方に直接伝えましたが、注意はしてくれません。意見箱に投書もしましたが、同じ意見の方がいらっしゃって、施設からは保温のために許可しているという回答がありました。水温が34℃で、室内温度が30℃あるのに寒いということはないと思います。きちんとマナーを守って利用していただきたいです。

市 長 市からエコパを管理している指定管理者に伝えます。

参加者 上福岡駅東口に送迎で自動車を乗り付けるのは誰でもやっていますが、車イス専用で駐停車できないと書いてあるので、許されるのはタクシーと車イスのみになってしまいます。これでは、ほとんどの人が何らかの違反を犯していることになります。また、以前横断歩道がないことを伝えたら、暫定整備と言われました。13年以上も前にできているのに、少しも進んでいないのはどうでしょうか。

市 長 今の形状は、警察と協議して決めたものです。乗り降りがしやすいように道幅を広くすればいいという意見もありますが、規定があり、今の幅になっています。

参加者 西保育所の跡地はどうする予定ですか。

市 長 場合によっては売却も含め、有効に活用できる方法を検討中です。

参加者 西小学校の裏側をお願いしてアスファルトにしてもらいました。最近、道端にアパートができています。この道は一方通行ですが、狭いので、車や自転車が通ると危険です。子供が裏口から抜けるので安全なように対策をしてもらいたいと思います。

市 長 個人所有の部分については難しいところもありますが、ご要望としては記録しておきます。

参加者 家のすぐ裏が三叉路になっています。何年も前に白線を引いてもらいましたが、朝は抜け道になっており、スピードを出して車が運行するので危険です。

市 長 どんな対策をとれるか検討します。亀久保交差点を抜けたくて通る人もいると思われます。亀久保交差点ですが、昨年、地権者の方

のご理解を得て右折帯をつくるための拡幅工事を進めることになりました。それが完了すれば渋滞を緩和できるのではないかと思います。

参加者 家電量販店の脇に小さな公園があるのですが、近所の人同士で掃除をしています。民家の方に枝が倒れているときなどは、市に連絡してもいいのでしょうか。

市長 地域の人でやっていただける部分はぜひお願いしたいと思いますが、どうしようもないという時は市にご連絡ください。

参加者 市報を見ると、後ろの方にサークルの紹介記事があります。何か活動をしたいとは考えているのですが、会費が一月何千円といった記載があります。サークル活動であっても、公共施設を使って利益を求めてはいけないと思うのですがどうでしょうか。

市長 利益なのか、材料費なのかという判断は難しいところです。外部講師の費用ということもあるでしょう。市報の記事については、営利目的ではないという確認を掲載時に確認はとっています。

サービスセンターホールは、営利企業でも使える施設で、使用料も高めに設定しています。市民交流プラザも有料施設ですが、公民館も実は無料ではありません。減免団体であることを申請して、無料になっています。年間 8 億かかっている公共施設の維持管理費のうち、わずかでも負担していただきたいということは考えています。市報については、皆さんのご負担を少しでも減らせるよう掲載時期をずらすなど配慮できる部分があれば配慮したいと思います。

参加者 そのお話を聞いて感じたことですが、西公民館の利用団体は 200 くらいあります。先日、利用者懇談会があり、会計報告がされましたが、200 団体のうち、年間 1,000 円の負担をしているのは、1/3 くらいです。この費用が維持管理費に充てられているのですが、強制はできないとのことでした。

参加者 防災無線放送は、1日に何回も流れていますが、聞きづらいのと高齢者の行方不明の情報が多いです。当事者にとっては切実な問題でもほとんどの人にとっては関係がありません。関心が薄れてしまうことで、いざという時に放送を聞かなくなってしまうのではないかと心配です。流す情報の基準を見直すことも必要ではないでしょうか。

市長 現状では、流す情報以上に行方不明になっている人がいらっしやいます。尋ね人の場合、見つかった情報を流してはどうかという意見をいただくこともあります。市としては運用基準を定め、流さないことにしています。防災無線はどうしても難聴地域ができてしまいます。家が新しく建つなどすると反響の関係で変わってしまうこともあります。そこでテレビ埼玉と契約し、重要な情報については、データ放送で防災無線の放送内容を見られるようにします。4月中にはスタートする予定です。ご指摘のように、運用基準を明確にして、きちんとした情報を提供できるようにしていきたいと考えています。

参加者 自治会活動に対し、申請すると市から補助金が出されているので、非常に助かっています。西地区町内会では、総合防災訓練に関連して冊子を作成し、会員だけでなく、会員以外の住民にも配布するというのをやらせていただいています。29年度は、2市1町で総合防災訓練を実施するというのですが、災害対策本部で情報を集約するのにドローンを活用した訓練を取り入れてはどうでしょうか。

市長 これまでもヘリから上空の映像を確認できるようにしたりしていましたが、直近の議会でもドローンの活用については提案がありました。またココネや消防本部のアンテナや本庁舎にカメラを設置してはどうかという話もあり、併せてドローンを活用することで様々な情報がとれるということが考えられます。今後 ICT 技術を使った災害対応を図っていくということは積極的に検討していきたいと思えます。

参加者 市民大学にエンルートの社長が来てくださって、ふじみ野市に産

業がないという話になったとき、人材があるということを社長がおっしゃっていました。せっかくエンルートがあるのですから、ドローン特区とは言いませんが、ドローン推進市みたいな取組で、子どもたちにドローンを通じて理科や電波、機械、通信などの教育を行って、人材を育成していくのはどうでしょうか。協力してもらえる人とのつながりもあるので、まずは西小学校から小さなドローンを飛ばすことから始めて、次はエンルートに来てもらって大きいのを飛ばすといったことをやっていけばいいのではないかと思います。

市長 ぜひお力を貸してください。